

# ドローンを活用した海水浴場の安全監視における実証実験



## (概要)

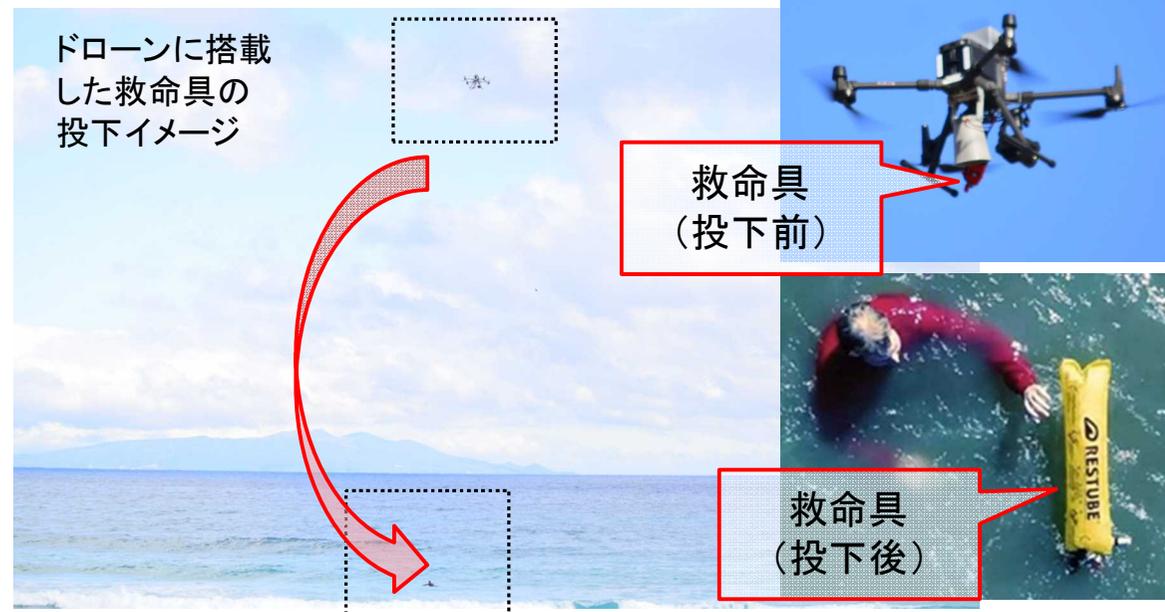
過疎地域では、人口減少や地理的条件不利に起因する様々な課題を抱えています。

県では、専門人材を過疎地域に派遣して、地域の課題を解決する「過疎地域等政策支援員」制度を活用し、ドローン等の革新的技術の活用・支援に取り組んでいます。

この度、ライフセーバーの継続的な人材確保が課題となっている海水浴場の安全監視について、県と下田市が合同で、ドローンを活用した安全監視業務の省力化等に関する実証実験を行います。

- 1 実施時期 令和5年1月14日(土) 午後1時15分～午後2時
- 2 実施内容 ドローンに搭載したカメラで要救助者を確認、ライフセーバーと連携し、スピーカーで呼びかけ、同じく搭載した救命具を落下させ、ライフセーバーが救助へ向かう
- 3 実施場所 白浜海岸(下田市白浜) ※別紙図面参照

## ドローン実証実験(実施イメージ)



# ◆実証実験場所位置図（白浜海岸・駐車場）



※伊豆急ホテルの駐車場から、白浜海岸の受付まで徒歩約8分かかります

# ◆白浜海岸（ドローン離発着所及び説明会場）配置図

※本来であれば、受付付近の管理事務所内で行うドローンとの連携を、マスコミ公開に限り、ドローン離発着所で実施します。

